

**研究開発助成申請書記入にあたっての注意事項**

※2018年度同様、2019年度の応募締切は7月31日(当日消印有効)です。

本申請書にご記入いただく上では、下記の事項にご留意下さい。

**1. 申請書1枚目について****1-1 申請者**

日本語または英語で記入すること。英語で記入の場合、氏名、所属・役職、研究題目については日本語を併記し、氏名は、読みをカタカナ表記して下さい。応募資格年齢は、当財団募集開始時点（2019年4月1日）で45歳以下となります。

**1-2 所属の記載について**

申請者の所属（日本語表記）は、次のように、詳しくご記入して下さい。

(例) ○○大学○○学部 ○○学科 ○○教室  
○○大学大学院○○研究科 ○○専攻 など

**1-3 所属機関長の承認印について**

大学の場合：学長、または研究科長（学部長）の承認印

その他の研究機関の場合：機構長、研究所長、センター長等の承認印

**1-4 研究題目**

40字以内で簡潔で研究内容を推測させるような題目を記入して下さい。『画期的』、『革新的』など、研究内容や技術用語と関係のない修飾語は付けないようにして下さい。

**1-5 研究技術分野**

科学計測に係る領域全般としての研究か、財団指定の新分野を対象とした研究かどちらかにチェックして下さい。

**1-6 アプリケーション分野**

ご研究の最終のアウトプット(応用・利用分野)がどのような分野に相当するかご自身でチェックして下さい。

**2. 申請書の枚数制限と書き方について**

申請書は申請書（1ページ目）を含めて4枚以内に収めること。2～4ページ目の研究内容に関する記入欄については、明朝体12ポイントでご記入下さい。また各項目別に注意事項を（ ）書きで示していますので、選考者にわかりやすく記述してください。

**3. 参考資料の添付について**

選考用の参考資料として、申請者の業績リスト及び論文別刷(コピー可)等を2～3点を、いずれも各3部ずつ添付して下さい。またご自身で執筆された当該研究の総説がある場合は、これについても3部添付して下さい。

**4. 業績リストについて**

研究に関連する業績リストを10篇以内でリストアップすること。また、参考資料として添付した別刷および総説は、業績リストの番号に○印を付けてわかりやすくして下さい。

**5. 提出部数について（◎は必須、○は任意）**

- ◎ 申請書：オリジナル1部 と コピー3部
- ◎ 業績リスト（記載は10篇以内）：3部
- ◎ 論文別刷（コピー可）2～3点：各3部
- 総説：3部（コピー可）

**6. 申請の締切日**

7月31日(消印有効) ※昨年度より応募の締切が7月31日となり、一昨年度より2か月早まっています。

**7. 申請書送付先**

〒604-8445

京都市中京区西ノ京徳大寺町1番地

公益財団法人 島津科学技術振興財団 事務局 宛

以上

## 研究開発助成申請書 (2019年度)

2019年 月 日

公益財団法人 島津科学技術振興財団  
理事長 井村裕夫 殿

下記のとおり、島津科学技術振興財団の研究開発助成を申請致します。

申請者

(フリガナ) 氏名	印	生年月日(西暦) 年 月 日 生 才
所属：		役職：
所在地：〒		電 話： F A X： E-mail：
研究題目：(40字以内)		
研究分野： (①、②いずれかにチェック)		科学計測に係る <input type="checkbox"/> ①領域全般 <input type="checkbox"/> ②財団指定の新分野
アプリケーション分野 (いずれかにチェック)		<input type="checkbox"/> 物理学 <input type="checkbox"/> 宇宙・天文学・地球科学 <input type="checkbox"/> 化学・材料化学・物性科学 <input type="checkbox"/> 電気工学・電子工学・情報科学 <input type="checkbox"/> 機械工学・制御工学 <input type="checkbox"/> 生命科学・農学・生物学 <input type="checkbox"/> 医学・薬学
申請者の略歴と学位：		
主な所属学会：		
主たる共同研究者の氏名と所属・役職：		

上記の研究者が 島津科学技術振興財団の研究助成金を受け、当研究機関においてこの研究を実施することを承認します。

2019年 月 日

所属機関：  
役職・氏名：

印

※承認印：学長、研究科長・学部長、機構長等の印

以下、記述には明朝体12ポイントを使用して下さい。

研究の目的（この研究の完成によって、科学技術の分野で期待される成果）

研究の経緯（一連の研究の着手時期と、これまでに得られた成果の要点、および今回の研究計画概要とのつながりについて記述して下さい。）

研究計画概要 (これから 1 ~ 2 年間の要点と成果の見込)

研究方法の特長 (当該分野における他の研究と比較した本法の有効性を記述すること)

島津財団助成金の使途 (当該の研究計画における当助成金の有効性)

